



志木二中だより

「勇気」 前に向かう強い心をもつ生徒

「信頼」 静かに考え他を認め励ます生徒

令和7年度8・9月号
令和7年 8月 29日
志木市立志木第二中学校
志木市館 1-3-1
TEL:048-473-2379

「自分の花」を誇らしげに

校長 島村 直人

本年度から、市内全中学校区での小中一貫教育のスタートに伴い、通称名を使い始めました。志木中学校区では「いろはさくら学園」、宗岡中学校区では「宗岡みらい学園」、宗岡二中学校区では「宗岡せせらぎ学園」と、それぞれの地域の特徴や教育への思いが込められています。

それでは、我が志木第二中学校区は、志木二小・志木四小と本校で、小中一貫した教育に向けて「志木の森学園」としてスタートを切り、数々の取組を進めております。その一つに、3校で共通に目指す子供像を

- ・ 夢や希望をもち、粘り強く挑戦を続ける子
- ・ 多様性を認め合い、共に高め合いながら成長する子
- ・ 自信や誇りをもって社会に貢献し、未来を拓く子

としました。

さらに、5月号の学校だよりでもお知らせしましたが、3校共通のグランドデザインにまとめました。

志木第二中学校では、花々が他との比較ではなく、「自分の花」を誇らしげに咲かせているように、生徒たちにも自分の持ち味や個性をよりよく発揮し、輝いてほしいと願っています。

しかし、個性と我儘は紙一重な一面もあります。人は社会の中で生きていくものであり、どれだけ自立していても、誰かと繋がっています。全くだれにも迷惑をかけないということは厳密には不可能です。学校では、集団の中で学ぶことで、迷惑をかけてしまう可能性を認めつつ、我慢することや許すこと、感謝の気持ちや貢献する姿勢などを育てていく場と考えます。それは、周りとの調和や社会のルールやモラルと言ったことを意識しつつ精一杯生きることにつながります。

この世の生きとし生けるものは、自然界という大きなルールの中で、その流れを乱すことなく命を育んできました。「ならば自然界の一員としての人間も、本来の素直で自然な心で生きることが何よりも必要なのではないか」と、季節の花々を見ながらつくづくそう感じました。

時代とともに変わらないもの、生活や慣習の中に息づいてきたものを大切にしながら、豊かな心を育てていきたいと思っています。

志木第二中学校区は令和9年度の義務教育学校開校を目指し、これまで同様に、変化への対応力や主体的に社会に関わる積極性、新たな価値を生み出す想像力を育むこと、社会人として身に付けてもらいたい自ら考え、適切に判断できる力、他人に流されるのではなく、どうすることがより良い事なのか、自ら考え、正しい価値観で自分の行動を決めることができる力の育成を目指していきます。